

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 10 月 18 日 (2012.10.18)

【公表番号】特表 2010-538123 (P2010-538123A)

【公表日】平成 22 年 12 月 9 日 (2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報 2010-049

【出願番号】特願 2010-523086 (P2010-523086)

【国際特許分類】

C 08 L 101/02 (2006.01)

C 08 K 3/00 (2006.01)

C 08 K 5/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/02

C 08 K 3/00

C 08 K 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 26 日 (2011.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バックボーンを有する主ポリマーと、

前記バックボーンに結合された不飽和側鎖と、を含む酸素消去ポリマーであって、前記側鎖は (i) 脂肪酸ベースの供給原料を使用して形成される少なくとも 1 つの脂肪族炭素 - 炭素二重結合又は (i i) 2 つ以上の炭素 - 炭素二重結合を含む、酸素消去ポリマーと、

触媒と、を含む、組成物。

【請求項 2】

前記バックボーンが少なくとも 1 つのヘテロ原子を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記主ポリマーのバックボーンが、1 つ以上のポリエステル、コポリエステル、ポリカーボネート、ポリ(エチレンオキシド)、ポリ(- カプロラクタム)、熱可塑性フルオロポリマー、ポリウレタン、ポリエポキシド、ポリラクトン、ポリメチルメタクリレート、ポリスチレン、ポリアリレート、ポリフェニレンオキシド、スチレン/無水マレイン酸、ポリオキシメチレン、ポリアミド、ポリイミド、ポリスルホン、ポリアミノ酸、ポリジメチルシロキサン、ポリオレフィン、ビニル、ポリケトン、それらの混合物、又はそれらの誘導体を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記酸素消去ポリマーが、概略的な式：

【化 1】

ー [バックボーン部分] ー



{ 式中、

- [バックボーン部分] - は、バックボーンの部分を表し、
X は、バックボーンに接続された二価の有機連結基を表し、
Y は、二価の酸素消去基を表し、ここで、当該 Y 基が、式

- W - C (R₁) = C (R₂) - C (R₃ R₄) - C (R₅) = C (R₆) - 、又は
- W - C (R₁) = C (R₂) - C (R₅) = C (R₆) - 、又は上記の式の混合物

(式中、W は、存在する場合、二価の有機基であり、R 基は各々、水素原子、置換された若しくは非置換のアルキル基、置換された若しくは非置換のシクロアルキル基、置換された若しくは非置換のアリール基、又は置換された若しくは非置換のアルケニル基のうちの 1 つを示す) の 1 つを含む

Z は、水素又は一価の有機基を表す } で示される、少なくとも 1 つの構造単位を有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

X が、エステル、アミド、ウレタン、エーテル、尿素、又は炭酸エステル連結基を含む、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記側鎖が、約 67 ~ 1,000 の分子量を有し、また前記側鎖が酸素消去ポリマーの 1 ~ 60 重量%を構成する、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記触媒が、遷移金属、遷移金属の複合体、光開始剤又はそれらの混合物を含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記側鎖が、不飽和脂肪酸ベースの側鎖を含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記側鎖が、2 つ以上の脂肪族炭素 - 炭素二重結合を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記組成物が、ボトル、カップ、ボウル、容器、フィルム、ラップ、裏張り、コーティング、トレイ、紙パック又は袋に形成される、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の組成物を含む物品。